

杉並社協地域福祉活動計画の概要

杉並区社会福祉協議会(以下:杉並社協)では、地域における困りごとやお悩み等の生活課題について、地域住民、地域福祉関係者・団体と共に解決していくため「杉並区地域福祉活動計画」を策定しました。杉並区が策定している、「地域福祉推進計画」と緊密に連携し、協働して地域のささえあいを推進していきます。

計画期間は、令和6年度(2024年)から令和9年度(2027年度)までの4年間としています。

○杉並のまちの現状・課題について

杉並のまちの現状を把握し、計画策定に反映する為、専門職アンケート、住民向けアンケート(地域をよくするためのアンケート)、対面ヒアリングを実施しました。アンケート調査結果をもとに以下のように、まちの現状や課題について整理しました。

①地域とのつながりが希薄

- 困っている人がどこにいるかわかりにくい
- 孤立・ひきこもりがちな人が増えている(単身世帯の増加傾向)
- 制度・サービスの狭間で苦しんでいる人がいる
- 災害等困ったときに助けを求めづらい
- 地域で支え合う仕組みがほしい

②必要な情報が必要な人に届きづらい

- 情報収集が苦手な方に対する有効な情報発信がない
- SNS等、年代に合わせた情報発信力が弱い
- 地域の口コミ力が弱っている

③困ったときに、どこに相談をしてよいかわからない

- 気軽に安心して相談できる場が、身近な地域にほしい
- ちょっとした困りごとを手伝ってほしい
- 外国をルーツにした方々には相談しやすい窓口が少ない
- ヤングケアラー等、若い世代の相談を受けとめる場が少ない

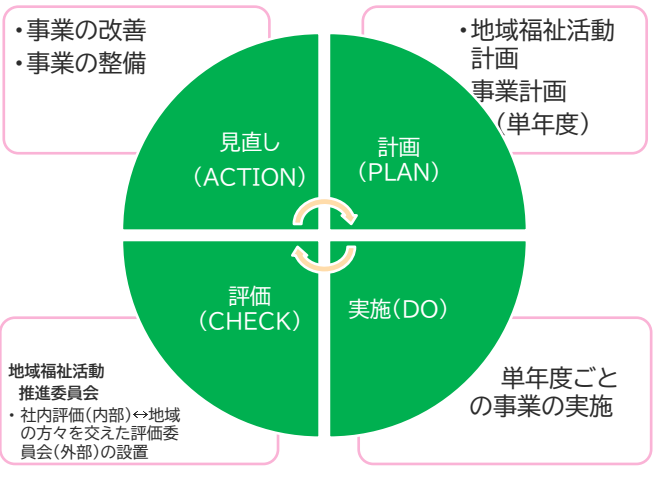
④地域の力を活かせていない

- 活動の担い手が少ない。
- 活動する場所が減少している⇔活動したいけどきっかけがない
- 地域活動継続のための資金援助策が少ない

○計画の進行管理

活動計画を推進していくにあたっては、進捗や成果等の達成状況を毎年把握するとともに点検と評価を行います。なお必要に応じ取り組み内容の見直しなど目指す姿に近づけるよう実効性を高めていきます。

事業の点検と評価にあたっては理事会の下に、令和6年度「(仮称)地域福祉活動推進委員会」を設置する予定です。



基本理念

お互いさまでつながりあう みんなが認めあえるまち

実施したアンケートや日々の業務を通して聞き取った住民の方々の声を受け止め、地域の課題を共に解決していくために基本理念と4つの目標と主な取り組みを設定しました。

目標1

身近な地域でささえあう、住民のつながりづくりを推進します

- ・地域課題を把握し、地域に必要な課題解決に向けたささえあいの仕組みを行政とともに、地域の協力を得ながら、一緒に考えます。
- ・専門職が地域に出向き、困りごとを抱えている方への伴走や地域で受け止めるネットワークづくりをします。

活動計画事業

- ・小地域プラットフォームづくりの推進
- ・多様な支援のためのアウトリーチ

目標2

地域の情報とつながる 多種多様な「場」をつくります

- ・誰もが気軽に安心して集える、身近な地域に居場所があることで、人との交流を通して、孤立・ひきこもり等、制度のはざまにこぼれ落ちることを防ぎます。
- ・興味関心やテーマに合わせた会話ができる、その人らしく過ごせる多種多様な「場」を地域住民とともにつくります。
- ・困った時に必要な情報が誰にでも入手できます。

活動計画事業

- ・身近な地域で集える「場」の推進

目標3

誰もが安心して相談できる 人や場を増やします

- ・小さな悩みも相談につながるよう、身近な地域に相談窓口を増やします。
- ・困りごとに気づき、周囲とわかちあう力を地域で高めます。
- ・地域と専門職がつながり連携を深めます。

活動計画事業

- ・地域に出向く相談機能の強化
- ・気づき・学び・わかちあう力の醸成
- ・区内社会福祉法人・NPO法人などとの連携の強化

目標4

様々な人が地域活動に参加できるように 環境を整えます

- ・想いをもった人たちが出会い、知り合い、活動につながるようコーディネートします。
- ・団体が仲間を増やし、活動継続できるように地域資源を活かし、情報発信やネットワークづくりをします。
- ・活動継続のため必要な「人・もの・お金」を有効に活用します。

活動計画事業

- ・多様な参加を生み出すコーディネートの推進
- ・企業などと地域団体とのマッチングの強化